

人権啓発センター だより

平成28年8月

No.32



雑 感

知り合いに聞くと、介護保険で民間参入等が進み高齢者介護サービスの量や質は拡大してきたものの、費用負担の増大等で介護保険だけでは十分なサービスを受けられる状況ではないようだ。

一方、単身高齢者も増えて家族介護にも限界があり、そこで期待されるのは地域の相互扶助だそうだが、田舎では共同体意識があって労務の負担の理解を得やすいが、都市部では難しそうだとのことだ。

要介護高齢者の最低限の生活は、医療や介護保険で社会的に提供されとしても、人間らしく生きていくための営みのすべては、とても社会的に負担しきれないだろう。

人権の分野では、高齢者の気持ちや生活に寄り添うという面で、様々なNPOや任意団体が活動しており、このような団体の活動が活発になる中で、新しい地域の共助のスタイルが見えてくると思う。

(理事長 西尾)

人権あれこれ

～「世界一貧乏な大統領の言葉」～

2016年4月にウルグアイ前大統領ホセ・ムヒカ氏が初来日した。対談、大学での講義、テレビ出演など話題になった。

リオ会議のスピーチで「人類がこの消費社会にコントロールされている」「私たちは幸せになるために存在し、命よりも高価なものは存在しない」と語った人だ。

「日本の若者は本当に幸せなのか」とのムヒカ氏の問いかけが胸に刺さった。この消費主義社会のなかで、若者だけでなく大人や子どもにも同じことを問えるだろう。

社会は便利な物であられ、一瞬で情報は拡散し、毎日がめまぐるしく変化する時代の波に巻き込まれ、本当の「幸せ」とは何かをゆっくり考えることが難しくなっているのかも知れない。この豊かな時代に「子どもの貧困」が問題



『世界でもっとも貧しい大統領
ホセ・ムヒカの言葉』
佐藤 美由紀／著 双葉社

となり、取り組みが進められている。

「豊かさ」の裏側で進む「格差」のしわ寄せが子ども達を苦しめる。

子どもにはその成長過程ごとの「モデル」が必要と言われる。「あんな人になりたい」「あの人を目標にがんばろう」と思える人。まず、家族や、身近な大人がモデルとなる。やがて自己洞察が進み、もっと広い世界に目を向けていく。子どもや若者が未来に希望をもち、本当の「豊かさ」や「幸せ」を実感できるよう、私たち大人にはモデルとしての責任があると思う。「差別意識」や「偏見」もモデルから学ぶのだから。ムヒカ氏の数々の言葉からは、私たちの生活や、生き方を見直すヒントと「人」に対する愛情が伝わってくる。

(研修講師 松下)

じんけんライブラリー

一押し本

『高校生が教える 先生・保護者のためのLINE 教室』

旭LINE 同盟&佐藤 功／著 学事出版 (1,000 円＋税)

著者の「旭LINE 同盟」とは、大阪府立旭高等学校 1・2 年生による有志のグループ。この本は、LINE をしたことがない先生やLINE を不安に思う保護者にLINE とはどのようなものなのか、子どもたちはどのように使っているのかを伝え、一緒に考えるための1冊です。

現役高校生が制作に関わることで、中高生のLINE の使い方や本音がわかります。なかでも、「〈座談会〉もしもトラブルが起こったら」で語られる、〈先生にやめてほしい5カ条〉や、先生に望む〈こんな指導をお願い〉がとてもリアルでした。

旭高校では、スマホを持っている生徒の98%がLINE を利用しているそうです。高校生にとっては良し悪しを議論する前から既に「ある」LINE。大人に教えることが、LINE の機能や依存しないための注意点を自覚することにもつながっています。

(企画啓発課 宮田)



※ 別紙：新着DVD、図書のご案内もごらんください。



ちょっといい話

投票（1 票）の力

6 月 23 日のイギリスの国民投票では、EU 離脱派が勝利した。

安易に離脱票を入れたことを悔やむ有権者の声、ブレグレット（Britain (英国) + regret (後悔)）との造語が新たに生まれた。

離脱派の指導者が、事前に掲げた医療費財源や移民対策等を撤回、修正するなど有権者をだましたとの批判が出ている。またリーダー格の前ロンドン市長や独立党党首は表舞台から降りる。さらに残留派が多かった、スコットランドの英国離脱の可能性も残っている。

国民投票を決めた保守党のキャメロン

首相は、2 年以内が期限のEU との離脱交渉は次の首相が行うとしているが、大きな混乱が相当期間続くことは避けられない。

7 月 6 日の高知新聞 声、ひろばのコーナーに、この国民投票の結果を見た 19 歳の大学生が、1 票の重み、投票の威力を認識し、しっかりと考えた上で投票する決意を示す投稿をしている。

選挙権年齢の引き下げによりこの大学生は、今年 7 月 10 日の参議院選挙ではじめて有権者となったが、よく考えて投票する新たな有権者が増えることを大いに歓迎する。

(企画啓発課 池本)

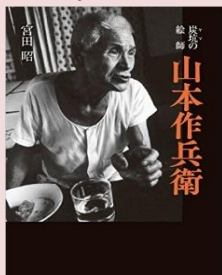


事業報告

第43回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業を開催しました

- ・2016年7月12日（火）午後1時～4時
- ・会場：県民文化ホール（オレンジホール）
- ・参加者：389名

7月10日～20日は「部落差別をなくする運動」強調旬間です。本年度も啓発事業として、ドキュメンタリー映画「炭鉱（ヤマ）に生きる」の上映と、田川市石炭・歴史博物館長の安蘇龍生（あそ たつお）さんを講師にお迎えした講演会「筑豊の炭坑と山本作兵衛の世界～筑豊と部落問題～」を行いました。



★講師より寄贈されました
『炭坑の絵師 山本作兵衛』
宮田昭著／書肆侃侃房
(2016年)

★アンケートより★

- 炭坑と部落問題の関連について学ぶことができ勉強になりました。
- 歯切れいい講演、知らなかったことを多く学ばせてもらいました。
- 映画と講演をセットで見ることでより理解しやすかった。
- 「石炭・歴史博物館」に行って、作兵衛の絵を見てみたくなった。安蘇館長の若々しい講演も引き込まれた。とても良かったです。時間が短く感じました。
- ふだん聞けない貴重なお話しであった。また聞きたい。

（企画啓発課 宮田）

あなたは大丈夫？ 考えよう！インターネットと人権 〈改訂版〉



《2016年発行パネル》

『あなたは大丈夫？
考えよう！
インターネットと人権』

- ①無料通信アプリなどを使用したいじめ
- ②リベンジポルノ・児童ポルノ
- ③個人情報の無断掲載
- ④捜査対象の未成年者の個人情報掲載
- ⑤著作権侵害
- ⑥性犯罪

当センターでは、無料で人権啓発パネルの貸出を行っております。ぜひ、学校や自治体などでご活用ください。

使い方を間違えると 大変なことに！

インターネットは、便利な情報通信手段ですが、誤った使い方をすると、自分や他人の権利が侵害される可能性があります。正しい使い方を心がけましょう。



大人になってから

インターネットは、便利な情報通信手段ですが、誤った使い方をすると、自分や他人の権利が侵害される可能性があります。正しい使い方を心がけましょう。

Information お知らせ



イベント紹介

高知ユナイテッドSC人権サッカー教室を開催します

スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業

今年も、人権サッカー教室を行います。これは、サッカーを通じて、いじめ等の身近な人権問題について県民が関心を持ち、理解を深めていただくことを目的としています。今回から、じんけん〇×クイズを企画しています。クイズ形式にすることにより、人権について子どもたちに関心をもってもらうきっかけになればと思います。

- 日時：8月24日（水）17：00～19：00
場所：高知市長浜公園グラウンド
協力：高知市市民協働部人権同和・男女共同参画課

- 日時：8月25日（木）15：00～17：00
場所：宿毛市総合運動公園 陸上競技場

- 参加料：無料
- 対象：小学1年～6年
- 内容：じんけん〇×クイズ、サッカー教室、人権について選手のコメント等。
- 申込方法：高知ユナイテッドSC事務局
TEL 050-3504-1728



☆今年度は、あと2回開催予定です

（企画啓発課 佐伯）



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- パネル
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。
※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
（送料は利用者のご負担となります）



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>